

令和5年度の重点課題

○男子

「握力」以外の7項目で令和4年度、5年度ともに、県平均値かつ全国平均値を下回っている。「20mシャトルラン」においては、県平均値を12ポイントも下回っている。さらには「体力合計点」も県平均かつ全国平均値を下回っていた。

○女子

「立ち幅跳び」のみ、令和4年度、5年度ともに、県平均値かつ全国平均値を下回っていた。

○全体

特に男子でみられる傾向ではあるが、運動は好きだが、体力に課題のある児童が多い。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○全般的な体力の向上

学校独自のリズム運動（準備体操の代わりとなる、リズムに合わせた柔軟や屈伸、伸身運動、体幹トレーニング）を考え、児童が楽しみながら運動をする機会を増やした。年間を通してリズム運動を行い、全校で楽しみながら運動をするともに、全般的な体力の向上を図った。

○立ち幅跳びの改善

立ち幅跳びに必要な背筋力をリズム運動の中に重点的に取り入れた。年間を通して行うことで筋力を付け、改善を図った。

○外遊び週間の実施

大縄大会を年1回行い、休憩時には学年ごとに大縄跳びの練習を行った。その際、大縄大会の前一週間を外遊び週間とし、休憩時間に外で体を動かす機会を設けた。各学級で目標回数を設定し、その回数に向かって学級で練習に取り組むことで、学級の団結を深めるとともに、運動することでの達成感をもたせ、体を動かす喜びへつながることができた。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.73	20.45	43.18	40.73	47.73	9.43	148.64	21.18	55.00

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.89	17.67	51.67	37.89	39.11	9.96	144.44	11.56	55.33

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	90.91	9.09	0.00	0.00

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	33.33	44.44	22.22	0.00

学校独自の意識調査

	運動やスポーツをすることが好き			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	82.4	17.6	0	0
第2学年	81.3	0	18.8	0
第3学年	79.2	12.5	0	8.3
第4学年	83.3	8.3	0	8.3
第5学年	68.4	26.3	5.3	0
第6学年	58.3	12.5	12.5	16.7
平均	75.5	12.9	6.1	5.6

	休み時間に外遊びをしている			
	どちらも	大体のみ	昼休のみ	していない
第1学年	35.3	0	11.8	52.9
第2学年	81.3	9.4	0	9.4
第3学年	75	4.2	12.5	8.3
第4学年	33.3	8.3	0	58.3
第5学年	47.4	0	0	52.6
第6学年	8.3	0	4.2	87.5
平均	46.8	3.6	4.7	44.9

重点課題

情意面での課題

学校独自の意識調査より

○運動やスポーツをすることが好き

肯定的な評価をしている児童が全体の88%である。しかし、学年が上がるにつれて否定的な評価をする児童が増加している。

○運動時間

大休憩(20分)、昼休憩(25分)どちらも外遊びをしている児童が全体の47%である。しかし、全体的に外遊びをしていない児童が45%いる。

体力面での課題

○男子

ほとんどの種目において県平均値かつ全国平均値を上回っている。しかし、「握力」「立ち幅跳び」の2項目で、県平均かつ全国平均を下回っている。特に「立ち幅跳び」においては県平均を1.78ポイント下回っている。

○女子

「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」以外の5項目で県平均値かつ全国平均値を下回っていた。特に「ボール投げ」においては県平均を2.14ポイント下回っている。

令和7年度の
重点目標値

- 運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合を90%にする。
- 1日の運動実施時間が20分未満の児童を0人にする。
- 女子の県平均値かつ全国平均値未満の種目を減らす。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○児童が楽しさを実感できる授業づくり

授業の中で、十分な運動量を確保するために、主運動につながる「感覚つくりの運動」を充実させる。(幅跳びの改善に向けて、とび箱運動の導入でケンパー跳びや大股跳びなどを取り入れるなど。)

単元ごとにグループを作り、対話をしながら運動に親しめるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

○外遊びの推進

大縄大会を年2回行い、休憩時には学年ごとに大縄跳びの練習を行う。その際、大縄大会の一週間前を外遊び週間とし、休憩時間に外で体を動かす機会を設ける。

保健体育委員会を活用して、異学年が交流できる様々な遊びを企画・運営し、外で遊ぶ機会を設ける。